

《日商簿記2級》 —工業簿記—

18. 総合原価計算⑤

～仕損（正常仕損費）の処理について～



ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



総合原価計算（正常仕損費の処理）

～仕損（正常仕損費）の処理について～
<減損との処理の違いやポイントを把握しよう!>

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



総合原価計算（正常仕損費の処理）

○用語○
 正常仕損度外視法…正常仕損費を個別に計算せずに自動的に負担させる

- ・製品を加工する際に、加工に失敗し一定の基準に満たない不合格品が発生することを（ ）といい、この発生による損失分の原価を（ ）という。なお、この不合格品そのものは（ ）という。
- ・また、製品製造のために仕損の発生を避けることができない場合があるが、これを（ ）という。これに対して、異常な原因で発生したものは（ ）という。

<正常仕損費の処理について>

- ・正常仕損費は、「製品製造を行うための必要原価」として考えられるため、正常仕損の発生点に応じて、良品である完成品や月末仕掛品に負担させるが、これは（ ）で処理する。なお、仕損品には、評価額（売却価値）がある場合とない場合がある。評価額がない場合（ゼロの場合）は、正常減損費と同じ処理を行うが、評価額がある場合は下記のように処理する。

●仕損品評価額がある場合の正常仕損費の処理方法 ●

- ・正常仕損費を完成品のみ負担させる場合
 → 直接材料費の完成品原価を計算後、**完成品原価から仕損品評価額を差し引く**
 - ・正常仕損費を完成品と月末仕掛品の両者に負担させる場合
 → **当月製造費用（直接材料費）から仕損品評価額を差し引き**、差し引き後の金額で月末仕掛品原価と完成品原価を計算する
- <完成品原価が下記の通りで**仕損品評価額が100円**の場合> <当月製造費用（直接材料費）が5,100円で**仕損品評価額が100円**の場合（先入先出法）>

月初仕掛品	完成品 6,000	完成品原価 6,000
当月投入	正常仕損	
	月末仕掛品	
		<u>5,900</u>

月初仕掛品	完成品	当月製造費用 5,100
当月投入	正常仕損	
	月末仕掛品	
		<u>5,000</u>

<参考>
 正常仕損費の計算は、「正常仕損品原価-仕損品評価額」で個別に計算できるが、仕損費の処理は度外視法で行うのが原則である（原価計算基準二七）。そのため、正常仕損費は個別に計算せず、**評価額は直接材料費から控除**する。

総合原価計算（正常仕損費の処理）

—問題解説—

～それぞれのパターンを問題で確認しよう!～

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



総合原価計算（正常仕損費の処理）

《問題1》

次の資料に基づいて、平均法により月末仕掛品原価、完成品総合原価および完成品単位原価を求めなさい。
 なお、正常仕損は工程の終点で発生した。
 仕損品1個あたりの評価額は3円であり、直接材料費から控除する。

1. 生産データ

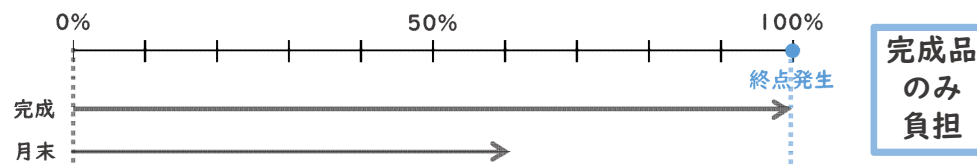
月初仕掛品	200 コ (50%)
当月投入	410 コ
合計	610 コ
正常仕損	10 コ
月末仕掛品	100 コ (60%)
完成品	500 コ

<換算量>

- ・()内の数値は加工進捗度を示す。
- ・材料は、すべて工程の始点で投入している

2. 原価データ

	直接材料費	加工費
月初仕掛品原価	1,100 円	1,410 円
当月製造費用	5,000 円	6,000 円



仕掛品（直接材料費）

月初仕掛品	完成品
当月投入	正常仕損
	月末仕掛品

仕掛品（加工費）

月初仕掛品	完成品
当月投入	正常仕損
	月末仕掛品

<仕損品評価額>

<完成品総合原価>

【解答】

月末仕掛品原価		円
完成品総合原価		円
完成品単位原価	@	円

総合原価計算（正常仕損費の処理）

《問題2》

次の資料に基づいて、先入先出法により月末仕掛品原価、完成品総合原価および完成品単位原価を求めなさい。

なお、正常仕損は工程の始点で発生した。

仕損品1個あたりの評価額は10円であり、直接材料費から控除する。

1. 生産データ

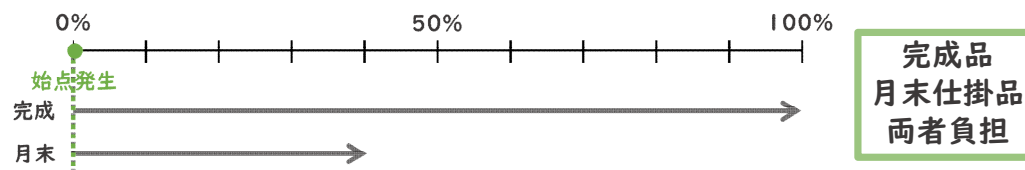
<換算量>

月初仕掛品	300 コ (50%)
当月投入	520 コ
合計	820 コ
正常仕損	20 コ
月末仕掛品	200 コ (40%)
完成品	600 コ

- ・()内の数値は加工進捗度を示す。
- ・材料は、すべて工程の始点で投入している

2. 原価データ

	直接材料費	加工費
月初仕掛品原価	1,800 円	1,200 円
当月製造費用	4,200 円	5,300 円



仕掛品（直接材料費）

月初仕掛品	完成品
当月投入	正常仕損
	月末仕掛品

仕掛品（加工費）

月初仕掛品	完成品
当月投入	正常仕損
	月末仕掛品

<仕損品評価額>

<当月製造費用（直接材料費）>

【解答】

月末仕掛品原価		円
完成品総合原価		円
完成品単位原価	@	円

《まとめ》

- 減損と仕損の大きな違いは、() である
- 正常仕損費も正常減損費と同様に、その金額を個別に計算せずに自動的に負担させる() で処理する
- 仕損品には、評価額(売却価値)がある場合とない場合がある
- 評価額(売却価値)がない場合は正常減損費と同じ処理をするが、評価額がある場合は下記のとおり処理する

○完成品のみ負担させる場合○

→(直接材料費の)完成品原価から評価額を差し引く

○完成品と月末仕掛品の両者に負担させる場合○

→当月製造費用(直接材料費)から評価額を差し引く



※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、ぜひ、高評価をお願いします♡

第18回の内容お疲れさまでした♪

